

社団法人 地盤工学会  
**基準部会**  
 平成 21 年度第 2 回 議事録

担当 仙頭紀明(幹事)

|      |                                 |   |     |       |   |    |           |  |
|------|---------------------------------|---|-----|-------|---|----|-----------|--|
| 日時   | 平成 21 年 6 月 15 日(月) 14:00~17:15 |   |     |       |   | 場所 | 地盤工学会 会議室 |  |
| 部長   | 高橋 邦夫                           |   | 理事  | 江藤 芳武 |   | 幹事 | 仙頭 紀明     |  |
| 部員   | 伊貝 聡司                           |   | 部員  | 長田 昌彦 | × | 部員 | 川崎 了      |  |
| 部員   | 岸田 潔                            |   | 部員  | 関野 武志 | × | 部員 | 豊田 浩史     |  |
| 部員   | 西岡 英俊                           |   | 部員  | 平井 貴雄 |   | 部員 | 利藤 房男     |  |
| ワザバ- | 寺本 邦一                           | × | 前部長 | 北誥 昌樹 |   |    |           |  |

: H21 年度新任      : 出席予定      : 出席(電子会議)      : 代理出席      × : 欠席予定      : 未定

## 配付資料

| 資料番号       | 資料   |
|------------|--|
| 資料-21.2.0  | 平成 21 年度 第 1 回基準部会議事録案   |
| 資料-21.2.1  | 海外出張計画書「ISO/TC 190 調整会議」,「ISO/TC 190/SC 3 調整会議」および「AFNOR (仏国規格) ヒアリング」会議出席 |
| 資料-21.2.2  | 海外出張計画書「CEN/TC 292」および「CEN/TC 345」会議出席                                     |
| 資料-21.2.3  | 海外出張計画書「ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法)」会議出席                                 |
| 資料-21.2.4  | 表記法委員会の活動と用語 JIS 化のロードマップイメージ  |
| 資料-21.2.5  | 日本工業規格 JIS A 1214, JIS A 1215, JIS A 1222 の改定提案箇所一覧                        |
| 資料-21.2.6  | 日本工業規格 JIS A 1214 砂置換法による土の密度試験方法 の改正素案                                    |
| 資料-21.2.7  | 日本工業規格 JIS A 1215 道路の平板載荷試験方法 の改正素案  |
| 資料-21.2.8  | 日本工業規格 JIS A 1222 現場 CBR 試験方法 の改正素案  |
| 資料-21.2.9  | 理事会報告資料 [ 4/24 開催議事録案, 5/15 開催議題書 ]  |
| 資料-21.2.10 | 平成 20 年度基準部所管委員会の活動レビューシート   |
| 資料-21.2.11 | 地盤工学表記法委員会報告資料 [ 6/3 開催議事録案 ]  |
| 資料-21.2.12 | 室内試験規格基準委員会報告資料 [ 4/16 開催議事録案 ]  |
| 資料-21.2.13 | 地盤材料試験の方法と解説の編集工程表   |
| 資料-21.2.14 | 地盤材料試験の方法と解説講習会プログラム   |
| 資料-21.2.15 | ベンダーエレメント試験の実施状況調査のためのアンケート票   |
| 資料-21.2.16 | 地盤調査規格基準委員会報告資料 [ 5/13 開催議事録案 ]  |
| 資料-21.2.17 | 会員からの質問への対応(地盤調査対応)  |
| 資料-21.2.18 | 「JGS XXXX 岩盤不連続面分布の幾何学的情報に関する調査方法」解説案                                      |
|            |  |
|            |  |
| 別添資料 - 1   | 「JGS 3541 埋設ひずみ法による初期地圧測定方法」, 「JGS 3551 円錐孔底ひずみ法による初期地圧測定方法」の新規制定基準案       |
| 回覧資料 - 1   |  |

## 審議事項

1. 前回議事録の確認 (資料-21.2.0)  
原案通り承認された。

2. 全体関係  
特になし。

3. 委員等の異動  
(1) 委員の追加

**理事会報告** 地盤調査規格・基準委員会 WG11 スウェーデン式サウンディング

・大北 耕三 氏 ((株)大北耕商事)

理由：今後のスウェーデン式サウンディング JIS 規格解説の作成に当たって、技術的に詳しい大北氏に加わっていただきたい。

委員の追加を承認した。

(2) 交代

特になし。

4. ISO国内委員会 関係

**理事会報告** (1) 海外派遣

ISO/TC 190 調整会議 (メール審議済)

ISO/TC 190/SC 3 調整会議 (メール審議済)

AFNOR (仏国規格) ヒアリング会議出席 (メール審議済)

派遣先： 蘭国・ユトレヒト, 独国・ベルリン, 仏国・パリ

派遣者：坂井委員 (ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG リーダー)

期 間：平成 21 年 6 月 3 日～6 月 6 日 (2 泊 4 日)

費 用：経済産業省受託より

派遣理由：別紙

(資料-21.2.1)

CEN/TC 341/WG 6 会議および ISO/CEN および BS の動向調査 (メール審議済)

派遣先：英国, ロンドンおよびケンブリッジ

派遣者：豊田浩史委員 (長岡技術科学大学, TC182 国内専門委員会委員)

吉嶺充俊委員 (首都大学東京, TC182 国内専門委員会委員)

期 間：平成 21 年 5 月 26 日～6 月 1 日 (5 泊 7 日)

費 用：規格協会 (半額補助) 助成および地盤工学会 ISO 対応費

派遣理由：室内土質試験として ISO/TS 17892 Part1～12 の見直しの審議と ISO 規格に格上げするか否かの審議が行われるが、これらの試験方法はほとんどが JIS や地盤工学会基準に存在している試験方法であることから、日本に不利益な ISO 規格とならないように、日本の意見を主張するため。

CEN/TC 292 および TC 345 会議出席

派遣先：スロバキア・ブラティスラバ

派遣者：坂井委員 (ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG リーダー)

期 間：平成 21 年 6 月 14 日～6 月 18 日 (3 泊 5 日)

費 用：三菱総合研究所 重点 TC

派遣理由：別紙

(資料-21.2.2)

CEN/TC250/SC7 (ユーロコード 7) 会議出席

派遣先：ドイツ・ミュンヘン

派遣者：松井謙二委員 (土木研究所, TC182 国内専門委員会委員)

期 間：平成 21 年 6 月 23 日～6 月 27 日 (3 泊 5 日)

費 用：規格協会 (半額補助) および地盤工学会 ISO 対応費

派遣理由：本会議ではユーロコード 7 の各国 NDP (各国独自のパラメータ) の進捗状況と次期ユーロコード 7 の方向性が審議されるほか、関連する TC341 (地盤調査規格), TC288 (地盤施工規格), 新設 TC396 (土工) などの情報が聞けるなど、欧州における地盤に係わる調査、設計、施工に係わる最新の情報を入手することが期待できる。

## ISO/TC 190/SC 3/WG 10 (予備試験法) 会議出席

派遣先：ポーランド・プラヴィー

派遣者：坂井委員（鉄道総合研究所，ISO/TC190/SC3/WG10 運営 WG リーダー）  
和田委員（九州大学大学院，ISO/TC 190/SC 3/WG 10 運営 WG・サブリーダー）  
野上委員（リガク，ISO/TC 190/SC 3/WG 10 運営 WG メンバー）

期間：坂井・野上委員：平成 21 年 6 月 30 日～7 月 6 日（5 泊 7 日）  
和田委員：平成 21 年 7 月 1 日～7 月 5 日（3 泊 5 日）

費用：坂井委員：三菱総合研究所 重点 TC  
和田委員・野上委員：経済産業省受託より

派遣理由：別紙

(資料-21.2.3)

上記 ~ の海外派遣を承認した。

## 5. 地盤工学表記法委員会 関係

### (1) 用語の規格作成について

(資料-21.2.4)

用語の規格作成についての工程が示された。ただし、あくまで JIS 改正 (H25 年度) をゴールとして逆算したものである。平成 21 年度は現状把握，問題点の抽出，今後の方向性の検討を行い，その成果を踏まえて趣意書としてまとめて，来年度には理事会に提出できるように引き続き表記法委員会で内部検討を行う。なお今年度の予算には用語の規格作成に関する検討については考慮していないので，活動に支障がある場合は，部会に相談する。

なお，以下に示す議論があった。

現状では規格で定義すべき用語と標準用語の関連について実態が把握できていない。(JIS で定義した用語と標準用語が整合しているか，相違がある場合に整合をとるのにどの程度の作業が必要か等)。

今後の規格を改正する際の対応としては用語の規格を作成する方法と各規格に用語の定義を個別に示す方法の 2 つが考えられる。ただし，どちらの方法でも，JIS に示した用語の定義と標準用語の統一を学会ではかる必要がある。

## 6. 室内試験規格・基準委員会 関係

特になし。

## 7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

### 理事会報告 (1) JIS 改正素案 (3 件)

(資料-21.2.5～8)

JIS A 1214

JIS A 1215

JIS A 1222

上記 3 件の規格素案の公示を承認した。なお以下の指摘事項があった。指摘事項を踏まえて修正した規格素案は次回部会に再度提出することになった。

・報告事項にある用語については少なくとも定義を示す必要がある。その際には地盤工学会の標準用語の定義を参照する。

- ・報告事項の用語，式の記号についても単位をつける。
- ・試験の回数についても確認する。
- ・試験値の有効数字の取り扱いについては JIS Z 8401 を参考にする。
- ・載荷圧力  $35\text{kN/m}^2$  を段階的に載荷するが，必ず  $35\text{kN/m}^2$  でいけないかどうか確認する。
- ・荷重計の読みについて単位を確認する。

上記以外の指摘事項がある場合は後日，利藤委員に連絡する。

青本では CBR 試験で用いる用語の「荷重強さ」を「載荷圧力」に変更する方針である。赤本の CBR 試験では「荷重強さ」を用いているので，室内試験規格・基準委員会内でその旨を周知・申し送りする。

### 理事会審議 (2) 基準の理事会上申について

(別添資料 - 1)

平成 21 年度会員に公示した下記 2 基準について 部会審議後理事会へ上申していなかったため，急ぎ上申したい。

- ・ JGS 3541 埋設ひずみ法による初期地圧測定方法
  - ・ JGS 3551 円錐孔底ひずみ法による初期地圧測定方法
- 基準部会では審議済みであるので、次回理事会に上申すること承認した。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係  
特になし。
9. 販売促進 WG  
特になし。
10. 基準部所管刊行物  
特になし。
11. その他

## 報告事項

1. 理事会（4月24日、5月15日）、通常総会（5月28日）開催報告 **（資料-21.2.9）**  
基準部関連事項の報告があった。
2. 全体関係 **（資料-21.2.10）**  
（1）企画部要請の「レビューシート」の提出
3. 部会・委員会関係  
（1）ISO 国内委員会

### 理事会報告 平成 21 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

| （相手先）            | （金額）  |       | 報告書の有無       | （納期） |  |
|------------------|-------|-------|--------------|------|--|
|                  | 助成    | 受託    |              |      |  |
| ・沿岸開発技術研究センター    | ×     |       |              |      |  |
| ・土木学会            | 検討中   |       |              |      |  |
| ・三菱総合研究所（回答作成）   | 60万円  |       |              |      |  |
| ・三菱総合研究所（重点TC旅費） | 160万円 |       |              |      |  |
| ・経済産業省           |       | 350万円 |              |      |  |
| 小計               | 220万円 | 350万円 | ：上限、予算は620万円 |      |  |
| 合計               | 570万円 |       |              |      |  |

ISO において「地下水」関連の地盤調査の規格案が審議されている。日本からは進士氏（TC182 国内専門委員会）がオブザーバーとして出席している。関連する委員会（地盤調査規格・基準委員会）で進士氏と連携をとっておく必要があるとの指摘があった。

- （2）地盤工学表記法委員会  
H21 第 1 回委員会（6月3日開催）報告 **（資料-21.2.11）**  
上記委員会の議事録をもとに報告があった。
- （3）室内試験規格・基準委員会  
（1）議題  
H21 第 1 回委員会（4月16日開催）報告 **（資料-21.2.12）**  
JIS 改訂の進捗状況  
5/18 開催の JISC 土木部会で試験の回数と用語の定義について指摘があり、学会としての対応を 7/3 開催の同部会で報告することになっている。試験回数については規格の解説文に説明を加えること、用語の定義に関しては学会として方針を検討中であることを説明することで対応するとの報告があった。  
赤本改訂版の編集状況 **（資料-21.2.13）**  
赤本講習会の会告案 **（資料-21.2.14）**  
ベンダーエレメント試験の実施状況調査のためのアンケート **（資料-21.2.15）**
- （4）地盤調査規格・基準委員会  
H21 第 1 回委員会（5月13日開催）報告 **（資料-21.2.16）**  
会員からの質問の回答 **（資料-21.2.17）**  
岩盤不連続面分布の幾何学的情報に関する調査方法 基準の解説 **（資料-21.2.18）**  
上記基準の解説について報告があった。解説について意見等がある場合は利藤委員に連絡する。  
初期地圧の測定方法の基準番号

- ・ JGS 3541-2009 埋設ひずみ法による初期地圧測定方法
- ・ JGS 3551-2009 円錐孔底ひずみ法による初期地圧測定方法

(5) 地盤設計・施工基準委員会

**理事会報告** 「打ち戻し施工によるサンドコンパクションパイル工法 設計・施工マニュアル」の寄贈

- ・ 契約のとおり完成した冊子を下記の部数委託者へ納品した。  
(1)不動テトラ(株) 300部, (2)あおみ建設(株) 250部, (3)日本海工(株) 50部

(6) 販売促進 WG

特になし。

4. 日本工業標準調査会 土木部会(次回7月3日)

特になし。

5. その他

広報委員会から英文の HP 作成の依頼があったとの報告があった(西岡委員)。今年度も西岡委員が広報を担当することを確認し、掲載するコンテンツの内容についても部会で検討していくことになった。

利藤委員よりメカニカルコーンが正式に ISO 規格になったとの報告があった。それを受けて地盤調査規格・基準委員会で当該規格の JIS 改正に向けた方針を検討中である。ISO 規格化により同様のケースが今後もおこりうるので基準部としての対応方針を示して欲しいとの要望があった。

H20 年度 基準部関係委員会開催状況

| 委 員 会 名  |  | 委員会開催日, 太字は次回開催日  |
|--|--|---|
| 基準部会   | 北詰 昌樹  | 4/17, <b>6/15</b>   |
| ISO 国内委員会<br>・WG1 ISO/TC182 対応<br>・WG2 ISO/TC190 対応<br>TC190/SC3/WG10 対応 WG<br>・WG3 ISO/TC221 対応   | 木幡 行宏<br>(代行: 木幡)<br>平田 健正<br><br>三木 博史  | 6/12<br>6/12<br><br>4/23, 5/22  |
| 室内試験規格・基準委員会<br>・WG1 物理特性(土と岩)<br>・WG2 化学特性(H17 化学試験)<br>・WG3 透水・圧密特性<br>・WG4 力学特性(土と岩)<br>・WG5 安定化・締固め特性<br>・WG6 ジオシンセティックス<br>・WG8 特殊土<br>・WG9 ベンダーエレメント試験基準化検討<br>・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG<br>・WG11 赤本改訂版の総説執筆に関する WG                    | 後藤 聡<br>古河 幸雄<br>川地 武<br>大島 昭彦<br>龍岡 文夫<br>北詰 昌樹<br>木幡 行宏<br>三浦 清一<br>山下 聡<br>安川 郁夫<br>後藤 聡                  | 4/2 幹事会, 4/16, <b>7/24</b>  |
| 地盤調査規格・基準委員会<br>・WG1 物理探査・検層<br>・WG2 ボーリング・サンプリング<br>・WG3 地下水<br>・WG4 サウンディング<br>・WG5 原位置載荷<br>・WG6 現場密度<br>・WG7 現地計測<br>・WG8 環境化学分析(透気試験)<br>・WG9 傾斜計による岩盤内変位測定方法基準化<br>・WG10 初期地圧の測定方法基準化<br>・WG11 スウェーデン式サウンディング試験方法改正<br>・WG12 貫入式地盤硬度計基準化 | 三村 衛<br>松島 潤<br>木村 英雄<br>井尻 裕二<br>田中 洋行<br>谷 和夫<br>小早川博亮<br>浅井 健一<br>宮口 新治<br>亀村 勝美<br>石田 毅<br>藤井 衛<br>北村 良介 | 5/13, <b>8/3</b><br><br>4/10, 6/5, <b>7/27</b><br><br><b>7/7</b><br><br>4/10, 5/7<br><b>7/10</b><br><b>6/29</b> |
| 地盤設計・施工基準委員会<br>・WG1 土構造物<br>・WG2 杭の水平載荷試験<br>・WG3 グラウンドアンカー<br>・WG4 サンドコンパクションパイル工法<br>・WG5 地山補強土   | 北詰 昌樹<br>本城 勇介<br>中井 正一<br>山田 浩<br>寺師 昌明<br>龍岡 文夫  | 4/15<br><b>6/10</b><br><br>4/1 幹事会, 4/16 幹事会, 5/27 幹事会,<br><b>6/4 幹事会, 6/26</b>                                 |
| 地盤工学表記法<br>・WG1 用語および用語の定義<br>・WG2 データシートおよび情報化  | 岸田 隆夫<br>岸田 隆夫<br>(鈴木明夫)   | 4/9, <b>6/3</b>   |
|  |  |   |

5. その他

1) 理事会（平成21年 7月24日（金）開催予定）への審議事項・報告事項

運営連絡会議は 6月 26日（金）開催

2) 総務部会（平成 21年 7月 10日（金）開催予定）への提案事項

3) 次回以降の部会開催日

- ・ 21年度第3回：平成 21年 9月 10日（木）14:00時～  
（対応理事会 H21. 9.28）
- ・ 21年度第4回：平成 21年 月 日（ ）14:00時～  
（対応理事会 H21. 9.28 or 11.28）
- ・ 21年度第5回：平成 21年 月 日（ ）14:00時～  
（対応理事会 H21. 11.28 or H22.1.22）

平成 21年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

| 理事会             | 運営連絡会議     |
|-----------------|------------|
| 4月 24日（金）       |            |
| 5月 15日（金）       |            |
| 5月 28日（木）総会/理事会 | 6月 26日（金）  |
| 7月 24日（金）       |            |
| 9月 28日（月）       |            |
|                 | 10月 23日（金） |
| 11月 27日（金）      |            |
|                 | 12月 25日（金） |
| H20年 1月 22日（金）  |            |
|                 | 2月 26日（金）  |
| 3月 19日（金）       |            |

---

4月 23日（金）  
5月 14日（金）  
5月 27日（木）総会/理事会